

# AWS Lambda Function 設定手順（概要編）

本資料では、AWS Lambda Function の設定概要を説明します。

お詫び：AWS の管理画面は頻繁にデザインが変更されます。本資料と差異がありましたら  
お手数ですが読みかえてください。ご連絡いただければ、なるべく修正したいと  
思います（mail address： mkcodenjoy@gmail.com）。

本ドキュメントは、わかりやすいレベルになっていないことは承知しております。  
申し訳ありません。

まず本作成例で用いる、S3、Lambda、API Gateway、SNS の設定仕様を整理します。

## 画像データアップロード用 API の実装

### Lambda の設定仕様

関数名：photoUploader（例）

ランタイム：Python3.7

ハンドラ：lambda\_function.lambda\_handler（自動設定）  
（ソースはソースコード（リスト#）を参照）

設定ロール：

ロール名：photoUploader-role-xxxxxxx（自動設定）

ロールに付与するポリシー：

- AWSLambdaBasicExecutionRole-xxxxxx（自動設定）
- AmazonS3FullAccess（S3 への書き込みを可能にするため追加）

トリガー：API Gateway（API Gateway 側で設定することで自動追加）

API 名：test000（API Gateway 側で設定することで自動追加）

### API Gateway の設定仕様

プロトコル：REST

API 名：test000（例）

ステージ名：test（例）

リソース名：uploadphoto（例）

メソッド：POST

メソッドの統合ポイント：統合タイプ：Lambda 関数  
Lambda プロキシ統合を使用（\*）

呼び出す Lambda 関数名：photoUploader（例）

バイナリメディアタイプ：application/octet-stream

URL:

https://bvaXXXXgki.execute-api.ap-northeast-1.amazonaws.com/test/uploadphoto

AWS による自動設定

ステージ名 リソース名

---

### Amazon S3 の設定仕様

---

S3 バケット名 : wificambucket (例)

パブリックアクセスをすべてブロック : オン

(フォルダは作成不要)

---

### 画像データ変換用 Lambda の実装

---

#### Lambda の設定仕様

---

関数名 : convertRawToJPEG (例)

ランタイム : Python3.7

ハンドラ : lambda\_function.lambda\_handler (自動設定)

(ソースはソースコード (リスト convertRawToJPEG.py) を参照)

設定ロール :

ロール名 : ConvertRawToJPEG-role-XXXXXX (自動設定)

ロールに付与するポリシー :

- AWSLambdaBasicExecutionRole-xxxxxx (自動設定)
- AmazonS3FullAccess (S3 への書き込みを可能にするため追加)
  - AmazonSNSFullAccess (SNS 経由での通知を可能にするため追加)

トリガー : S3

- バケット : wificambucket
- イベントタイプ : PUT
- サフィックス : .raw

Layers の利用 : PIL\_for\_Python\_3\_7

実行上限時間 : 1 分 (処理に時間がかかり上限を 1 分に変更します)

---

### SNS(Simple Notification Service) の設定仕様

---

名前 : uploadNotify

ARN : arn:aws:sns:ap-northeast-1:365701690774:uploadNotify (自動設定)

サブスクリプション (配信メンバ登録)

エンドポイント : メールアドレス) 、プロトコル : EMAIL

-----  
Amazon S3 の設定仕様 （アップロード用 API 設定で設定済み）  
-----

S3 バケット名 : wificambucket (任)  
パブリックアクセスをすべてブロック : オン

---

Lambda 関数は、以下の 2 つに分かれています。

1. uploader.py  
アップロード用 API の提供、ならびに、RAW 画像を受け取り S3 に保存
2. convertRawToJPG.py  
保存された RAW 画像を S3 から取得して、RAW→JPEG フォーマット変換を実施、得られた JPEG 画像を S3 に保存、参照用 URL を SNS (Amazon Simple Notification Service) を用いてユーザにメール連絡

上記 2 つの Lambda 関数の登録手順はそれぞれ以下のドキュメントで説明します。

1.           setup\_Lambda\_uploader\_ja.pdf
2.           setup\_Lambda\_convertRAWtoJPG\_ja.pdf

いずれも同じフォルダに置いています。